

学校教育における新潟県埋蔵文化財センターの活用について

新潟県埋蔵文化財センター（以下、センター）は、埋蔵文化財の調査と保護、及びその活用を図るため、平成8年7月に設立されました。施設の維持・管理は指定管理者である公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団（以下、事業団）が行っています。

センターでは普及啓発活動の一つとして、学校と連携して行う校外学習を実施しています。平成25年度は延べ28校（約1,900名）がセンターを訪れ、様々な体験活動を行いました。

利用方法や体験内容等は以下のとおりです。計画を立てる際の参考にしてください。

記

1 校外学習

(1) 基本方針

資料や体験内容を用意し、児童・生徒の校外学習を支援します。

(2) 実施までの流れ

校外学習の申し込み（電話で日時と内容を決定）

↓ ※希望日が集中する時期があります。第2・3希望日も用意しておいてください。

センターでの事前打合せ（実施日の10～15日前に）

↓ ※校外学習の内容及びタイムスケジュールを確認・調整します。

校外学習依頼書・学習計画書の送付（実施日の7日前までに）

↓ ※事前打合せの際、ご持参いただいても結構です。

校外学習の実施

(3) 校外学習に活用できる施設と活用例

① 常設展示室・新資料展コーナー

開館時間は9時～17時です。休館日は年末年始（12月29日～1月3日）のみです。入館無料で開放していますので、自由見学や課題学習等に利用できます。また、平日には職員による説明も可能です。希望される場合は、事前にお申し込みください。

《展示内容》

1F 常設展示室 事業団が発掘調査した県内遺跡の出土品を展示しています。

1F 企画展示コーナー 近年発掘調査した遺跡の出土品などを展示しています。

2F 縄文土器コーナー 様々な縄文土器を展示しています。

② 研修室

収容人員約60名の部屋です。プロジェクター等の設備があります。教師の構想に沿った授業の実施や土器作り体験、石器使用体験、竪櫛作り体験等の活動の場として利用できます。利用する場合は予約が必要です。

《研修室で利用できる学習補助教材》

ア) 土器や石器の実物資料

量感や質感を肌で感じることができます。また、土器作りの際の見本等にも利用できます。

イ) 学習ビデオ2巻(「発掘調査のあらまし」、「黒田古墳群の発掘」) 発掘調査の流れを確認できます。小学校高学年用に作ってあります。

③ 中庭ポーチ、窯場 主に火おこし体験、勾玉作り体験、煮炊き体験の場として利用します。雨天時には、テント2張りを用意します。利用する場合は予約が必要です。

(4) 体験学習プログラム

火おこし体験 マイギリ式とキリモミ式の2種類の火おこし用具を使った体験ができます。4～5人を1班として活動します。所要時間は約1時間で、マイギリ式の方法費として1班500円(約140円/1人)が必要です。

石器使用体験 黒曜石を打ち割って作った模造石器片を使った体験ができます。石器で切る対象物(ニンジン)・軍手・新聞紙・ごみ袋を各自で用意してください。所要時間は20分～30分程度です。

勾玉作り体験 所用時間は1～2時間で、方法費として1人約130～150円が必要です。作品は持ち帰ることができます。

文様つけ体験 土器に文様を施す縄文原体(捩り糸等)や竹管、貝殻を使って粘土に文様つける体験ができます。陶芸用陶土を使えば、壁飾りにすることも可能です。粘土は学校で用意してもらいます。所要時間は30分～1時間です。作品は持ち帰ることができます。なお、センターでは焼成を行っていません。

煮炊き体験 模造縄文土器を使ってジャガイモをゆでて試食します。ゆであがるまでに約2時間かかるので、その間にほかの体験をすることができます。ジャガイモは各自で用意(水洗いも済ませておく)してください。当日の天候により、実施できない場合もあります。

土器作り体験 実習時間が3時間程度確保できる場合にお受けしています。粘土は学校で用意してもらいます。作る土器の大きさにもよりますが、1人あたり1kg程度の粘土が必要です。なお、センターでは焼成を行っていないので、文様つけまで行って持ち帰ってもらいます。煮炊き体験用に使用している土器は、「T-58」という野焼き用陶土で作っています。15kgで約1,700円(送料別)です。自宅のオーブンでも焼ける「オーブン陶土」も市販されています(400g500円程度)。使用粘土についてはご相談ください。

堅櫛作り体験 縄文人が髪をたばねたり、髪飾りとして使用した堅櫛を、竹串とタコ糸を利用して作ります。所用時間は約1時間で、方法費として1人100円が必要です。作品は持ち帰ることができます。

(5) 利用上の留意点

○申し込みのお電話は、早め(できれば実施希望日の1か月以上前)にお願いします。

○校外学習は、4月中旬～6月下旬、9月中旬～10月下旬に集中しています。これらの時期は、第2・第3希望日への変更をお願いする場合があります。

- 9月以降の実施をお考えの場合、7月中に申し込みをして夏休み中に事前打合せを済ませておくと、準備をより円滑に進められるかと思われます。
- 施設の都合上、1つの体験についての人数の上限は約40名となります。2交代制で実施した場合は、約80人まで対応できます。人数がそれ以上の場合は、午前と午後に分けるか、2日間に分けての利用となります。いずれにしても、事前にご相談させていただきます。

2 出前授業

学校の要請により、事業団職員を派遣することができます。

基本的に市町村教育委員会埋蔵文化財担当が対応できない場合に、こちらから職員を派遣します。

派遣する職員の業務の進捗状況や出張等で、希望日の変更や時間調整が必要になる場合があります。また、教師と事業団職員の役割分担等について、事前に打ち合わせをさせていただきます。

【出前授業の例】

- ・実物資料を利用した社会科歴史学習
- ・文化祭や学年行事での親子土器（勾玉）作り体験
- ・総合学習の講師やアドバイザー（ゲストティーチャーとしての利用など）
- ・埋蔵文化財関連業務についての職業講話

3 情報の発信

(1) 広報紙『埋文にいがた』

年4回（7月、9月、12月、3月）発行し、県内のすべての小・中・高校に配布しています。事業団で行っている発掘調査遺跡の紹介や学校の授業でも活用可能な埋文コラム、国・県指定遺跡及び遺物の紹介も載せています。ホームページでもご覧いただけます。

(2) ホームページ

センターの展示品紹介をはじめ、県内の考古学関係の情報や、事業団が発掘調査した遺跡の概要、発掘調査報告会・出土品展・現地説明会の案内等を適宜アップロードしています。事業団ホームページのURLは、<http://www.maibun.net>です。センターのホームページへは、ここからジャンプできます（トップ画面左のマスコットキャラクター「まいぶんちゃん」をクリックしてください）。

(3) 図書資料

発掘調査報告書、土器図鑑、郷土史など県内外の考古学関係図書及びパンフレットを約68,000冊所蔵しています。閲覧は図書資料室で、平日（9:00～17:00）のみ可能です。貸出は行っていませんが、コピーは可能です（実費負担をお願いします）。用件によっては事前連絡が必要です。

(4) 見学のしおり

センターの紹介パンフレットです。来館者全員に差し上げます。事前配布をご希望の場合は、事前打合せの際にお申し出下さい。

(公財) 新潟県埋蔵文化財調査事業団調査課普及班 TEL 0250-25-3981 FAX 0250-25-3986 E-mail niigata@maibun.net
--